

平成30年度 第3回

「帯広市地域自立支援協議会 就労・社会活動部会 研修会」を開催しました。

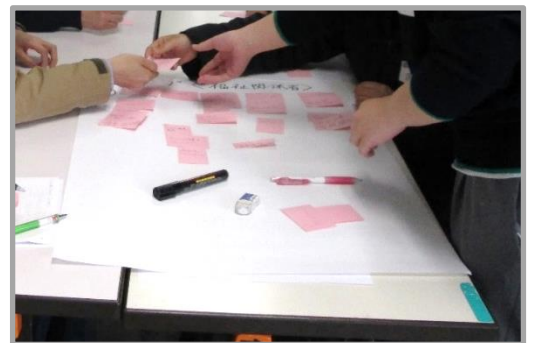
過日、平成31年3月14日（木）、第3回 帯広市地域自立支援協議会 就労・社会活動部会を開催しました。この研修会は、関係機関の就労支援・生活支援・定着支援等の支援力の向上や関係機関との連携構築を目的に、平成28年度から帯広市と共同で開催しております。



今回の研修は、「障がい者就労支援を支える人材に求められるスキルと福祉サービスに期待すること」と題し、北海道障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー 岡田 麗子 様をお招きし、職業リハビリテーションの定義から関係機関の役割まで幅広くお話しいただきました。

職業リハビリテーションは「障がい者が適当な職に就き、これを継続し及びその職業において向上することを可能にし、それにより障がい者の社会における統合又は再統合の促進を図ること」と定義されています。そのため、「障がいがあっても仕事に就いて職業的に自立すること、その中で、生涯にわたって「生活の質」の向上を目指すことは極めて大切」とされ、そのための支援をすることが職業リハビリテーションの活動であると説明がありました。障がい者雇用の変遷としては、障がい者を理解する世の中に近づいてくるとともに、企業が雇いやすい制度も充実し、企業の求人意欲は旺盛になってきているとの説明もありました。そのような中、就労の支援にあたる我々の役割と力量が問われます。アセスメントの重要性やプランニング、自己理解への支援など、求められる内容をお話しいただきました。また、支援の中での関係機関への引き継ぎでは「軸足を移すスタンスで」次のステージへ渡す必要性を話されていました。

後半は講義の内容を踏まえ、福祉関係者グループ、企業グループに分かれグループワークを行いました。内容は各事業所のアセスメントや就労プログラムに関する情報交換と支援に対する課題についてです。下記、グループワークの内容を一部紹介します。



<福祉関係者グループ>

就労支援をより良いものにするために必要な事（自分たちに不足している事、学びたい事）

<本人支援について>

- ・相談できる雰囲気作り ・信頼関係作り ・人柄を理解する ・コミュニケーション能力
- ・利用者の希望にそった指導、教育ができる指導員 ・利用者さん達の価値を高める（AI ではできない事）
- ・利用者に今の仕事がどのように社会につながっているかを理解してもらえるように支援 ・本人主体であること
- ・本人の生活の場への理解と連携 ・本人のニーズ、客観的ニーズ、潜在的ニーズを見極める事

- ・主体性 ・失敗の経験から振り返る ・多様性を認める ・コミュニケーション能力 ・対話スキル
- ・強い意志、相手にまきこまれない ・見る力（必要としていることを理解する） ・聴く力（想いを引き出す）
- ・知識力 ・柔軟な発想 ・希望と仕事のマッチング ・利用者の得意なことを見つける力
- ・統合失調症の障がい特性の理解 ・待つこと ・支援員の自己管理（感情）

就職支援について

- ・選択の幅があるといい ・定着 ・職場開拓（交流、営業） ・企業ニーズを知る（求める人材）
- ・企業と会う場、他職種との交流

経営、運営について

- ・資本主義の株式会社が経済を動かし、社会を作っている事 ・生産性、効率 ・スタッフ間の情報
- ・就労支援のスタッフが自分の仕事为社会につながっているのか理解している事
- ・職員のスキルアップ ・評価の共有 ・正しい法律 ・まんべんなくできるプロの育成
- ・制度の理解（もう少し深く考えられるように） ・色々な事業所を知る事（学びたい、知ってきたい）

<企業グループ>

就職前に知っておきたいことはなんですか？

- ・勤務可能時間 ・就労時間 ・障がいの内容
- ・病歴、疾患、種別 ・現在の体調 ・通院しているか ・薬の服用
- ・経歴（職歴、プライベートなことも含めて）
- ・体力的時間管理 ・賃金はいくら欲しいか
- ・長所、得意な事。短所、不得意な事、苦手な事
- ・やりたい仕事、うちの会社でやってみたいことは
- ・希望の職種、仕事内容 ・特技、性格 ・自分の特性を知っているか ・前職勤務時間
- ・前職退職理由 ・休日の過ごし方 ・コミュニケーション力 ・会話力
- ・どのような事に配慮して欲しいか ・家族状況、関係 ・現在の居住状況（家族との協力は得られるか）



就職後、どのような連携があると良いですか？

- ・スーパーなどの業務訓練 ・注意などのアドバイス ・定期的な訪問 ・次期人材に向け実習
- ・緊急時の対応 ・（社内で）責任者との連携

企業内におけるご本人へのキャリアへの考え方はありますか？

- ・本人面談 ・本人の体調、感情の不安定な時の相談 ・仕事に役立つための資格所得
- ・ご本人の体調に合わせた契約の考え方とキャリアアップを踏まえた契約更新

今年度も、当センターで行う様々な研修にご参加いただき、誠にありがとうございました。グループワークでは、管理者や現場支援員など、立場が違っていると悩まれていることや学びたいと思っていることに違いがあることがわかりました。今後も、情報の発信や総論的内容から技術研修まで、それぞれの立場に合わせた必要な内容を提供していきたいと考えております。

皆さんに頂いたご意見は、次年度の研修に取り入れて参りますので、今後もよろしくお願ひいたします。